



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 ウシオ電機株式会社  
コード番号 6925 URL <http://www.ushio.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 菅田 史朗  
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 神山 和久

TEL 03-3242-1811

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	75,098	6.6	6,506	△17.0	6,848	△18.7	4,564	△20.9
23年3月期第2四半期	70,432	26.7	7,840	236.1	8,424	146.9	5,770	90.1

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △725百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △2,759百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	34.34	—
23年3月期第2四半期	43.21	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	206,254	150,913	72.5
23年3月期	217,292	157,867	71.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 149,483百万円 23年3月期 156,166百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	22.00	22.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	6.8	13,000	△7.4	15,000	△13.6	10,000	4.4	75.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	139,628,721 株	23年3月期	139,628,721 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	8,498,529 株	23年3月期	6,086,575 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	132,920,343 株	23年3月期2Q	133,545,707 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済を顧みますと、東日本大震災で被害のあったサプライチェーンの立て直しが進み生産が持ち直すなど全体的に回復傾向にあるものの、そのスピードは鈍化しております。電力問題や原子力災害の影響に加え、高水準の円高や回復力が弱まっている海外景気の国内への影響等、依然として不透明な状況が続いております。

米国経済におきましては、景気回復が非常に弱まっております。消費は減少傾向にあり、生産や設備投資の抑制に加え、失業率も高止まりしております。

欧州経済におきましては、ドイツやフランスにおいて景気の持ち直しのテンポが緩やかになっており、ギリシャを中心とする一部国々の財政の先行き不安による金融システムへの懸念や高水準の失業率の継続が景気の低迷要因となっております。

アジア経済におきましては、中国やインドにおいて内需中心に景気が拡大しており、その他のアジア地域も総じて景気が回復しておりますが、それぞれ拡大・回復のテンポは緩やかなものであり、欧米向け輸出の減少や物価上昇による景気下振れリスクを内包しております。

このような経済環境のもと、当社グループに関連する液晶・半導体市場では、スマートフォンやタブレット端末のマーケットの拡大は続いておりますが、液晶テレビやパソコンの需要の減速感が強まり、DRAMやフラッシュメモリの価格が下落、特に液晶パネルの価格下落は著しく、一部で設備投資を抑制する動きが見られました。

また、映像機器関連市場では、世界中でデジタル化や投資スキームの活性化もあり、デジタルシネマプロジェクタやシネマプロジェクタ用クセノンランプは引き続き堅調に推移しております。

以上のような状況の中、当社グループでは、生産性の向上や製造コストの低減、経費の圧縮、海外展開強化に向けた販売体制の整備・拡充、海外生産シフトの促進等、引き続き、全グループを挙げて業績の向上に注力してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高で前年同期比6.6%増の750億9千8百万円、営業利益で前年同期比17.0%減の65億6百万円、経常利益で前年同期比18.7%減の68億4千8百万円、四半期純利益で前年同期比20.9%減の45億6千4百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (光源事業)

光源事業におきましては、シネマプロジェクタ用クセノンランプが伸張したものの、液晶・半導体関連市場の設備稼働や設備投資環境の悪化により、特に当第2四半期連結累計期間において露光用UVランプのリプレイス需要が低調に推移いたしました。

その結果、売上高は前年同期比9.8%減の266億9百万円、セグメント利益は前年同期比14.2%減の42億6千5百万円を計上いたしました。

#### (装置事業)

装置事業におきましては、映像装置分野ではデジタルシネマプロジェクタとともにノンシネマ製品も好調に推移いたしました。また、光学装置分野では液晶・半導体関連、LED関連、その他電子部品関連の製造装置の販売は堅調に推移いたしました。EUV光源装置をはじめとして研究開発投資が先行いたしました。

その結果、売上高は前年同期比18.1%増の470億3千3百万円、セグメント利益は前年同期比21.5%減の21億8千1百万円を計上いたしました。

#### (その他事業)

その他事業の産業機械関連製品におきましては、食品包装市場の設備投資需要は順調に推移いたしました。射出成型市場においては低調に推移いたしました。

その結果、売上高は前年同期比23.7%増の17億8百万円を計上し、セグメント利益は前年同期比68.9%減の2千2百万円を計上いたしました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,062億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ110億3千7百万円減少いたしました。主な増加要因は、余資運用による「有価証券」の増加であります。主な減少要因は、「受取手形及び売掛金」の減少、関係会社株式の売却及び株式市況の低迷による「投資有価証券」の減少であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、553億4千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億8千3百万円減少いたしました。主な増加要因は、課税所得の増加による「未払法人税等」の増加であります。主な減少要因は、「支払手形及び買掛金」の減少、株式市況が低迷したことによる「投資有価証券」の含み益の税金部分であります「繰延税金負債」の減少であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,509億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ69億5千3百万円減少いたしました。主な増加要因は、当第2四半期連結累計期間に獲得した「利益剰余金」であります。主な減少要因は、円高による「為替換算調整勘定」の減少、配当金の支払い及び自己株式の取得であります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ42億6千6百万円増加し392億2千1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、40億8千万円の収入（前年同期は47億9千6百万円の収入）となりました。

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益を78億1千8百万円計上し、減価償却費が34億5千2百万円発生し、売上債権が14億2千3百万円減少した一方で、たな卸資産が28億5千2百万円増加し、仕入債務が29億4千万円減少したこと、及び法人税等の支払27億5千8百万円の支出によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、68億1百万円の収入（前年同期は32億7千9百万円の支出）となりました。

この主な要因は、定期預金の払戻し79億1千3百万円、投資有価証券の売却11億2千6百万円、及び関係会社株式の売却75億円による収入と、定期預金の預入41億8千7百万円、有形固定資産の取得32億8百万円、及び無形固定資産の取得14億3千5百万円の支出によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、52億6千2百万円の支出（前年同期は4億1千9百万円の支出）となりました。

この主な要因は、長期借入れ11億8千7百万円の収入と、配当金の支払29億3千7百万円、及び自己株式の取得30億1千2百万円の支出によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境を展望いたしますと、東日本大震災で被害のあったサプライチェーンの立て直しが進み回復傾向が続くことが期待されるものの、高水準な円高、米国景気の下振れ懸念、欧州の財政・金融問題、新興国でのインフレリスクなど、グローバルな景気減速の懸念があり、予断を許さない状況が継続するものと考えております。

このような情勢下におきまして、当社グループは重点事業である「映像・画像事業」「固体光源事業」「高密度実装事業」「露光事業」を中心に、強みである光源・光学技術を最大限活用した最先端分野での研究開発の推進等、生産・販売・開発の全てにわたり諸施策を鋭意推し進め、グループ全体の更なる事業基盤強化を図ってまいります。また、現在の厳しい市場環境に対応すべく、引き続き徹底した製造・管理コストの低減、新製品の開発や新規分野への用途開拓、新規事業の展開を積極的に進めてまいります。

今後の市場動向といたしましては、映像機器関連市場においてはデジタルシネマプロジェクタやシネマプロジェクタ用クセノンランプ及びノンシネマ製品が引き続き堅調に推移すると想定されます。しかしながら、液晶・半導体関連市場をはじめその他電子部品関連市場においては、スマートフォンやタブレット端末などの需要拡大要素はあるものの、総じて設備稼働の低下や設備投資の抑制・先送りにより、露光用UVランプや光学装置の販売が減速する可能性があります。

以上の見直しから通期連結業績予想につきましては、売上高は1,550億円、営業利益は130億円、経常利益は150億円、当期純利益は100億円にそれぞれ修正いたしました。なお、第3四半期以降の為替レートは、77円/米ドル、105円/ユーロを前提としております。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,496	37,728
受取手形及び売掛金	34,300	31,166
有価証券	8,447	9,869
商品及び製品	23,065	21,158
仕掛品	6,675	7,649
原材料及び貯蔵品	9,766	10,136
繰延税金資産	4,593	4,462
その他	5,805	6,200
貸倒引当金	△419	△392
流動資産合計	130,730	127,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,231	30,880
減価償却累計額	△15,523	△16,155
建物及び構築物(純額)	15,708	14,724
機械装置及び運搬具	22,608	22,287
減価償却累計額	△17,166	△17,503
機械装置及び運搬具(純額)	5,441	4,784
土地	8,849	8,342
建設仮勘定	1,126	1,564
その他	19,058	19,946
減価償却累計額	△13,726	△14,611
その他(純額)	5,331	5,335
有形固定資産合計	36,457	34,751
無形固定資産	3,039	4,069
投資その他の資産		
投資有価証券	45,134	37,400
長期貸付金	25	24
繰延税金資産	510	634
その他	1,536	1,503
貸倒引当金	△142	△108
投資その他の資産合計	47,064	39,455
固定資産合計	86,561	78,275
資産合計	217,292	206,254

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,052	14,274
短期借入金	6,512	6,228
1年内返済予定の長期借入金	849	3
未払法人税等	3,564	4,879
繰延税金負債	129	5
賞与引当金	2,819	2,586
製品保証引当金	2,337	2,154
受注損失引当金	103	0
その他	7,089	6,580
流動負債合計	41,458	36,712
固定負債		
長期借入金	4,922	5,907
繰延税金負債	8,277	6,764
退職給付引当金	1,053	1,567
役員退職慰労引当金	112	171
資産除去債務	194	196
その他	3,406	4,019
固定負債合計	17,966	18,628
負債合計	59,424	55,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,556	19,556
資本剰余金	28,371	28,371
利益剰余金	116,831	118,458
自己株式	△9,215	△12,228
株主資本合計	155,544	154,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,245	11,123
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△11,622	△15,798
その他の包括利益累計額合計	622	△4,674
少数株主持分	1,700	1,429
純資産合計	157,867	150,913
負債純資産合計	217,292	206,254

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	70,432	75,098
売上原価	45,871	50,431
売上総利益	24,561	24,666
販売費及び一般管理費	16,720	18,160
営業利益	7,840	6,506
営業外収益		
受取利息	156	143
受取配当金	433	500
持分法による投資利益	1,048	73
投資有価証券売却益	18	1,103
その他	291	209
営業外収益合計	1,949	2,029
営業外費用		
支払利息	110	112
為替差損	548	1,157
売買目的有価証券運用損	150	197
控除対象外源泉税	34	—
その他	520	219
営業外費用合計	1,364	1,687
経常利益	8,424	6,848
特別利益		
固定資産売却益	9	1
投資有価証券売却益	—	2,972
特別利益合計	9	2,973
特別損失		
固定資産除却損	123	27
固定資産売却損	2	0
減損損失	102	437
投資有価証券評価損	227	1,224
事業整理損	—	314
会員権評価損	60	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	100	—
特別損失合計	616	2,003
税金等調整前四半期純利益	7,817	7,818
法人税、住民税及び事業税	2,544	4,271
法人税等調整額	△652	△1,171
法人税等合計	1,891	3,099
少数株主損益調整前四半期純利益	5,926	4,718
少数株主利益	155	153
四半期純利益	5,770	4,564



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,926	4,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,266	△1,120
為替換算調整勘定	△5,422	△4,335
持分法適用会社に対する持分相当額	2	12
その他の包括利益合計	△8,685	△5,443
四半期包括利益	△2,759	△725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,802	△732
少数株主に係る四半期包括利益	42	7

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,817	7,818
減価償却費	3,085	3,452
減損損失	102	437
事業整理損	—	314
受取利息及び受取配当金	△590	△643
支払利息	110	112
売買目的有価証券運用損益(△は益)	150	197
持分法による投資損益(△は益)	△1,048	△73
固定資産売却損益(△は益)	△6	△0
固定資産除却損	123	27
投資有価証券売却損益(△は益)	△18	△4,075
投資有価証券評価損益(△は益)	227	1,224
売上債権の増減額(△は増加)	△3,731	1,423
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,865	△2,852
仕入債務の増減額(△は減少)	2,433	△2,940
その他	5,010	1,904
小計	5,800	6,326
利息及び配当金の受取額	615	623
利息の支払額	△102	△111
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,517	△2,758
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,796	4,080
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△13,049	△4,187
定期預金の払戻による収入	12,545	7,913
短期貸付けによる支出	△22	△12
短期貸付金の回収による収入	965	26
有価証券の取得による支出	△1,058	△596
有価証券の売却及び償還による収入	761	202
有形固定資産の取得による支出	△2,991	△3,208
有形固定資産の売却による収入	53	4
無形固定資産の取得による支出	△119	△1,435
投資有価証券の取得による支出	△1,215	△249
投資有価証券の売却及び償還による収入	115	1,126
子会社株式の追加取得による支出	—	△304
関係会社株式の売却による収入	—	7,500
長期貸付けによる支出	△17	△12
長期貸付金の回収による収入	847	1
事業譲受による支出	△182	—
その他	89	34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,279	6,801

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,353	402
長期借入れによる収入	—	1,187
長期借入金の返済による支出	△24	△807
自己株式の取得による支出	△2	△3,012
配当金の支払額	△2,670	△2,937
少数株主への配当金の支払額	△75	△95
財務活動によるキャッシュ・フロー	△419	△5,262
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,604	△1,352
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△507	4,266
現金及び現金同等物の期首残高	28,595	34,954
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	94	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,182	39,221

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,404	39,691	69,095	1,336	70,432	—	70,432
セグメント間の内部売上高 又は振替高	107	122	229	44	274	△274	—
計	29,511	39,813	69,325	1,380	70,706	△274	70,432
セグメント利益	4,969	2,778	7,748	72	7,820	20	7,840

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械及びその他事業等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,532	46,921	73,454	1,644	75,098	—	75,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	77	111	189	64	253	△253	—
計	26,609	47,033	73,643	1,708	75,351	△253	75,098
セグメント利益	4,265	2,181	6,446	22	6,469	37	6,506

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機械及びその他事業等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。